

2026年 7月 1日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 劉 庭秀
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻応用言語研究講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名・人員 准教授又は講師 1名
2. 専門分野 応用言語学及びその関連領域
3. 担当科目
大学院授業科目:言語総合研究系・応用言語研究講座関連科目
全学教育科目:英語
4. 応募資格
 - (1) 本研究科において、教育・研究に従事する資格があると認められる者で、博士の学位をもち、准教授にあつては、大学における准教授、講師、助教又は助手としての教育経験年数3年以上であることを要し、講師にあつては、大学における講師、助教又は助手としての教育経験年数1年以上であることを要する。ただし、他の条件において特に優れている場合にあっては上記の年数を短縮することができる。
 - (2) 上記の専門分野において、国際的に定評のある査読付き学術誌における継続的な研究成果を有するとともに、大学院における教育及び研究指導を行う能力を有すると認められる者であること。
 - (3) 本研究科国際文化研究専攻応用言語研究講座の准教授又は講師として、言語総合研究系、応用言語研究講座関連の大学院授業科目、及び全学教育科目(英語)を担当できること。英語による大学院国際教育プログラムである「言語総合科学コース(IGPLS)」に参画できる者であること。
 - (4) 国籍は問わないが、日本語及び英語で研究と教育に従事できる者であること。

1. 雇用形態

- (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
- (2) 原則として本研究科が定めるテニュアトラック制度を適用する。
 - ・ テニュアトラック教員の任期は4年とし、テニュア付与に係る審査は、任期満了の1年前までに実施する。
 - ・ 特に優れていると認められる場合は、テニュアトラック制によらず任期の定めのない採用とすることもある。
 - ・ その他、詳細については総務企画係へお問い合わせください。

6. 採用予定日 2027年 4月 1日

7. 提出書類

- (1) 履歴書1部(本学所定の様式、写真添付)
様式は研究科HPの「教員募集」ページからダウンロードしてください。
https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/faculty_recruitment

(2) 研究業績一覧表(様式自由)

研究業績には、以下の項目を含めることが望ましい:論文、書籍、国際会議プロシーディングス、会議発表(国内・国際、一般発表・招待講演を区別)、受賞、産業財産権、社会貢献活動、競争的研究資金、共同研究の実績、その他特筆すべき事項。論文については、査読の有無を明記すること。また、当該論文または業績が優れたものであることを示す数値指標(被引用数、ジャーナルのインパクトファクター、FWCI[Field-Weighted Citation Impact]など)があれば、適宜明記すること。

(3) 研究業績のうち、著書、論文、研究ノート全点(PDF、抜刷り、コピーでも可)。

(4) 主要な業績3点について、研究業績一覧表に○印を付すとともに、それぞれの要旨を日本語で1,000字程度にまとめ、添付すること。

(5) 研究に関する抱負および教育に関する抱負

それぞれ日本語でA4判1~2枚程度にまとめること。

・研究に関する抱負

今後取り組む予定の研究テーマや計画について具体的に記述する。また、中長期的な研究目標や見通しについても記述すること。これまでの分野融合的な取り組みや、国際的な共同研究・連携の経験がある場合は、それについても触れること。

・教育に関する抱負

大学院教育に対する方針や目標について述べる。加えて、自身の専門に基づいて大学院で担当可能な専門科目を想定し、その科目名を明記すること。さらに、これまでの教育経験(大学院生の指導経験を含む)および教育に関する実績についても記述すること。

(6) 授業計画書

教育に関する抱負に記載した大学院で担当可能な専門科目について、講義計画(全15回分)をA4判1枚程度にまとめること。※日本語または英語のいずれかで記載すること。

(7) 必要に応じて、ほかに資料の提出を求めることがある。

8. 応募締切 **2026年9月18日(金) 17:00(必着)**

9. 選考方法 書類選考後、面接を実施する予定である。

※ 面接に要する交通費は、支給しない。

※ 面接は対面を原則とするが、海外居住者についてはオンライン形式で行うことがある。

10. 書類提出先【電子メール】

int-som*grp.tohoku.ac.jp(送信時には「*」を「@」に置き換えること)

※ 提出書類一式をパスワードを設定したPDFファイルにして(個別でもまとめてもどちらでもよい)、上記のメールアドレス宛てに送付すること。パスワードは、別途電子メールで知らせること。

※ メールの件名は「応募書類(応用言語研究講座)」とすること。

※ 受理通知を必ず確認のこと。なお、送信日から2日後(土日祝日、その他休業日を除く)までに受理通知が届かない場合には、必ず電話で問い合わせをして、応募書類の着信の有無を確認すること。

※ 応募書類は原則として返却しない。

11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係

電話 022 (795) 7541

FAX 022 (795) 7583

電子メール int-som@grp.tohoku.ac.jp

東北大学大学院国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

12. その他

- 東北大学は多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion : DEI)を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。
東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>
- 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学ーみんなが主役ー多様な性に関するガイドライン」を制定しています。
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/
- 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園(定員 22 名)及び青葉山みどり保育園(定員116 名)の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園(定員 120 名)があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。
また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
- その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/
人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>
- 育児休業を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休業期間の範囲内で当該任
期を延長することがあります。